

# トピックス

## TOPICS

### 従業員のための保育園をつくりませんか

#### 従業員の多様な働き方に対応

##### 株式会社ダイナシティ（神奈川県小田原市）

ショッピングセンターの管理、運営を行う株式会社ダイナシティでは、テナントの従業員確保のため、女性が安心して長く働ける職場環境の整備も重要と考え、保育園の設置を検討していたところ、整備費・運営費の助成、テナントとの共同利用といった点でメリットを感じ、本助成制度の利用に至った。

接客、販売などショッピングセンターのテナントスタッフは約8割が女性であり、勤務時間、勤務形態も店舗により様々であることから、従業員の多様な働き方に対応する必要があり、開園は週7日間、保育時間も8時から21時と長くしている。

園児募集に当たっては、自治体の認可保育園との併願によるキャンセルの発生、店舗自体の移動やスタッフの異動などの変動が大きいことなどを理由に、企業側の応募が伸びなかったが、施設のバックヤードへのポスター掲示、テナント企業側への複数回の説明、見学会の実施など、自治体の支援も得つつ募集を行い、その後順調に推移したという。

また、郊外型のショッピングセンターであ

り、駐車場が十分に用意されていることは、保護者と子供両者の出退勤時のストレスを軽減でき、重要な要素と捉えている。

#### 経営戦略・CSRに活かす

##### 平成レグス株式会社（香川県高松市）

香川県高松市でタクシー業を営む平成レグス株式会社では、従業員の平均年齢が63.7歳と高齢化するなど、若い人材の確保が喫緊の課題となっており、高齢者や障害者向けのサービスの充実に向けた経営革新を進める中、子育てで働きたくても働けない女性を採用するための方策の一つとして、本助成制度を活用することにより、保育施設を開設した。

保育業務を委託した企業と共同利用することで保育士の子供も受入れ可能とし、1日11時間、週7日間の開園とするとともに、看護師も常駐することにより、体調不良時の対応も行っている。

今回の保育事業の導入によって、子育て中の女性6名から求人への応募があり、4名を採用することができたとのことであり、的確な移動サービスの提供によりいきいきとした高齢者や障害者の方々が増えるとともに、保育施設の運営により安心して働ける子育て中



(ショッピングセンターの屋上で散歩)



(子供を保育園に預け、出勤する女性)

の女性が増えることがゴールであるという。

### 「女性に優しい工業団地」へ

#### 吉泉産業株式会社（大阪府枚方市）

食品機械を製造・販売する吉泉産業株式会社では、人手不足の状況から、働きやすさを打ち出し、優秀な女性を採用できるよう、保育園の開設を決めた。保育園の開設は数年前から検討していたが、認可保育所並みの保育料にするには相当額の自己負担が生じるために断念していたところ、本助成制度の開始を受け、実現に踏み出した。

同社は、工業団地の中にあり、「女性に優しい工業団地」を目指して準備を進めてきたが、保育所を求める声を聴くうちに、父親が子供を保育所に預け、出社するケースもあることに気付いたという。保育園が工業団地であれば、男性社員も女性社員も、子供の体調不良時にもすぐに駆けつけられ、また、普段も子供とともに帰宅し、家族団らんの時間を多く持てる。そのような環境づくりを進め、軌道に乗れば、工業団地内の全21社で提携を結び、運営していくことも構想している。

また、大阪府においては、福祉部門と企業支援部門が連携し、企業支援の委託を受けたOSAKAしごとフィールド（中小企業人材支

援センター）が事業所内保育施設に関する情報提供や企業ニーズの把握と合同設置等に向けた企業間マッチング等を効果的に行っており、吉泉産業株式会社においてもこれら自治体等と連携して準備を進めている。

### 女性研究者の更なる活躍を期待

#### 国立大学法人長崎大学（長崎市）

国立大学法人長崎大学では、事前のアンケートにおいて、今後出産を予定している教職員の9割近くが、出産後も仕事を続けることを希望しており、多くの教職員が仕事を続ける条件として保育施設の充実を掲げていた中で、既に保育園を開設していたキャンパスとは別のキャンパスに本助成制度を利用して保育園を設置することとした。

保育園設置に向けては、長崎大学で働き学ぶ全ての人々にとって、それぞれの能力を十分発揮できるよう、ダイバーシティマネジメントを推進しているダイバーシティ推進センターが中心となって提案、大学内の調整等を行った。大学敷地内に設置することにより、利用者の利便性・安心にもつながると考える。学長も、多様性を大事にする職場づくりの一環であるこの保育園の開園により、女性研究者の更なる活躍を期待しているという。



（完成イメージ図）



（学内を散歩し、学生とも触れ合う様子）

（参考）

2016（平成28）年度子ども・子育て支援新制度フォーラム（2017（平成29）年2月22日）

（<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/forum/2016/index.html>）

企業主導型保育事業事例集

（<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/ryouritsu/jirei.html>）